

授 業 概 要 (1 / 4)

授業のタイトル (科目名) 相談援助の理論と方法		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
【授業の目的・ねらい】 ○相談援助の基本理念、共通課題、ソーシャルワークの体系や内容等を理解させる。 ○相談援助の過程において必要となる知識や技術について理解させる。 ○相談援助における、人と環境との相互作用をはじめ、援助の対象、実践モデル、事例分析等について理解させる。			
【授業全体の内容の概要】 ○相談援助の理論と方法を理解させる。 【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 ○相談援助専門職としての専門性(知識・倫理・価値・技術)の向上と、ソーシャルワークの視点・思考、知識を修得する。			
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 コマ数 1. 人と環境の相互作用 2. システム理論と生態学理論 3. バイオ・サイコ・ソーシャルモデル 4. ソーシャルワークの対象 (ミクロ・メゾ・マクロ) 5. ソーシャルワークの目標「グローバル定義」 6. ソーシャルワークの価値基準および倫理、理念 7. 援助関係の意義と概念 8. ソーシャルワークの定義 9. エンパワメントとストレングス 10. ソーシャルワークの過程 11. アセスメント 12. プランニング 13. インターベンション 14. モニタリング 15. 終結			
【使用テキスト・参考文献】 最新・社会福祉士養成講座 「ソーシャルワークの理論と方法 共通」 「ソーシャルワークの理論と方法 専門」 中央法規 社会福祉小六法2021		【単位認定の方法及び基準】 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする	

授 業 概 要 (2 / 4)

授業のタイトル (科目名) 相談援助の理論と方法		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 保田 浩美	
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年		必修 ・ 選択	
[授業の目的・ねらい] ○相談援助の基本理念、共通課題、ソーシャルワークの体系や内容等を理解させる。 ○相談援助の過程において必要となる知識や技術について理解させる。 ○相談援助における、人と環境との相互作用をはじめ、援助の対象、実践モデル、事例分析等について理解させる。 [授業全体の内容の概要] ○相談援助の理論と方法を理解させる。 [授業修了時の達成課題 (到達目標)] ○相談援助専門職としての専門性(知識・倫理・価値・技術)の向上と、ソーシャルワークの視点・思考、知識を修得する。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 16. アフターケア 17. ケアマネジメントの原則 18. カンファレンス 19. 記録 20. 記録のフォーマット 21. スーパービジョンの機能 22. スーパービジョンの形態 23. 社会資源の活用・調整 24. 社会資源の開発 25. グループワークの意義と目的 26. グループワークとセルフヘルプグループ 27. ネットワーキング 28. コーディネーション 29. 事例分析 30. 事例研究 前期末試験					
[使用テキスト・参考文献] 最新・社会福祉士養成講座 「ソーシャルワークの理論と方法 共通」 「ソーシャルワークの理論と方法 専門」 中央法規 社会福祉小六法2021			[単位認定の方法及び基準] 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		

授 業 概 要 (3 / 4)

授業のタイトル (科目名) 相談援助の理論と方法		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 保田 浩美	
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年		<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	
[授業の目的・ねらい] ○相談援助の基本理念、共通課題、ソーシャルワークの体系や内容等を理解させる。 ○相談援助の過程において必要となる知識や技術について理解させる。 ○相談援助における、人と環境との相互作用をはじめ、援助の対象、実践モデル、事例分析等について理解させる。					
[授業全体の内容の概要] ○相談援助の理論と方法を理解させる。					
[授業修了時の達成課題 (到達目標)] ○相談援助専門職としての専門性(知識・倫理・価値・技術)の向上と、ソーシャルワークの視点・思考、知識を修得する。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 31. モデルとアプローチ 32. 心理社会的アプローチ 33. 機能的アプローチ 34. 問題解決アプローチ 35. 課題中心アプローチ 36. 行動変容アプローチ 37. 認知アプローチ 38. 危機介入アプローチ 39. エンパワメントアプローチ 40. ナラティブアプローチ 41. 解決志向アプローチ 42. モデルとアプローチ総括 43. ソーシャルアドミニストレーション 44. 組織介入とソーシャルワーク 45. 組織改善の実践モデル					
[使用テキスト・参考文献] 最新・社会福祉士養成講座 「ソーシャルワークの理論と方法 共通」 「ソーシャルワークの理論と方法 専門」 中央法規 社会福祉小六法2021			[単位認定の方法及び基準] 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		

授 業 概 要 (4 / 4)

授業のタイトル (科目名) 相談援助の理論と方法		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 保田 浩美	
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年		必修 ・ 選択	
[授業の目的・ねらい] ○相談援助の基本理念、共通課題、ソーシャルワークの体系や内容等を理解させる。 ○相談援助の過程において必要となる知識や技術について理解させる。 ○相談援助における、人と環境との相互作用をはじめ、援助の対象、実践モデル、事例分析等について理解させる。 [授業全体の内容の概要] ○相談援助の理論と方法を理解させる。 [授業修了時の達成課題 (到達目標)] ○相談援助専門職としての専門性(知識・倫理・価値・技術)の向上と、ソーシャルワークの視点・思考、知識を修得する。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 46. ソーシャルアドミニストレーション 47. ソーシャルアクション 48. プレゼンテーション 49. ファシリテーション 50. ネゴシエーション 51. カンファレンス1 52. カンファレンス2 53. 災害時の社会福祉士の働き① 54. 災害時の社会福祉士の働き② 55. 地域包括ケアシステム① 56. 地域包括ケアシステム② 57. ソーシャルサポートネットワーク① 58. ソーシャルサポートネットワーク② 59. まとめ① 60. まとめ② 後期末試験					
[使用テキスト・参考文献] 最新・社会福祉士養成講座 「ソーシャルワークの理論と方法 共通」 「ソーシャルワークの理論と方法 専門」 中央法規 社会福祉小六法2021			[単位認定の方法及び基準] 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		